

# 農業の持つ可能性

## 【実践者】

|                 |               |      |              |
|-----------------|---------------|------|--------------|
| 氏名              | 堀内 雅人         | 学校名  | 茨城県立水戸農業高等学校 |
| 担当教科等           | 農業            | 対象学年 | 2 学年         |
| 実践年月日もしくは期間(時数) | R6. 9 月～R7.2月 |      |              |

## 【実践概要】

### 1. 実践する教科・領域

農業・「作物」

### 2. 単元名と単元目標

#### ① 単元名

開発途上国の現状と課題を知り、私たちができることは何か考える。

#### ② 単元目標

ウガンダ(開発途上国)の現状を知り、農業の見方・考え方を働かせ、私たちに何ができるかを考える。

#### ③ 関連する学習指導要領上の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。

(1)農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

(2)農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 3. 単元の評価基準

#### ① 知識及び技能

・ウガンダの現状について理解する。

・農業は世界中で行われていることを知り、それぞれの国の特徴や日本と共通する点に気づくことができる。

#### ② 思考力、判断力、表現力等

・農業や環境について学ぶ高校生として、自分達にできることは何かを考え、表現することができる。

#### ③ 学びに向かう力、人間性等

・よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

#### 4. 単元設定の理由・単元の意義

##### ① 単元設定の理由

農業が人々の健康と生命に直結し、豊かな生活を持続的・安定的に提供する社会的役割を担っていることを理解させ、農業を学ぶことの意義や重要性を考えることができるようになるために、本単元を設定した。

##### ② 単元の意義

・農業や環境について学ぶ高校生として私達にできることは何かを考えてほしい。  
・世界中で行われている農業の様々な課題解決に対して、日本の農業技術がその解決に役立っていることを学び、農業の持つ可能性を感じることができるようになってほしい。

##### ③ 児童/生徒観

プロジェクト学習などの対話的な学習活動を通して意見を交流する経験を積んできていて、自分の考えを伝えられる生徒が多い。

##### ④ 指導観

農業科の生徒は、農業が好きで農業を学びたいと入学してくる生徒は一握りで、そうではない生徒に、まず農業に興味を持たせることが重要である。農業という世界共通のツールを用いて、農業を学ぶことの大切さや自分たちが学んでいる農業は人の役に立っているという有用感を得ることができるきっかけにしていきたい。

#### 5. プログラム計画

| 回 | テーマ<br>ねらい                                                                                                                                    | 方法・内容                                                                                                                                               | 使用教材等                                        |
|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 0 | JICA つくば研修員との交流<br>(2時間)<br>ねらい: 農業を通じた国際交流により農業学習を深化させ、英語でのコミュニケーションをとることで語力・コミュニケーション力・表現力の向上に資する。そして、国際人として活躍するために必要な国際感覚を身に付け、国際理解を身に付ける。 | 7か国から農業を専門としている研修員に來校していただき、生徒との交流会を行う。班ごとに英語での自己紹介やアイスブレイクなどで交流を図り、研修員の方々に学校の園場を回りながら、生徒たちが学んでいることを紹介する。英語科や社会科の教員と協力し、英語の指導や、研修員の方々の国について学ぶ。(6時間) | ・自己紹介文のワークシート<br>・学校の園場を英語で説明するためのワークシート(台本) |
| 1 | ウガンダに行ってきました。<br>ねらい: ウガンダのエピソードや写真を見せることで、ウガンダへの興味関心を高める。                                                                                    | ウガンダの写真 9 枚を見て、不思議に思ったこと・疑問に思ったこと、気が付いたことをグループで話し合う。                                                                                                | ウガンダの写真                                      |
| 2 | これって、ウガンダと日本どっち？<br>ねらい: ウガンダと日本の写真を見せて、ウガンダと日本の共通点や、似ているところを気づくことができるようになる。                                                                  | ウガンダのナイル川にかかる大きな橋や日本の車が走っている様子の写真から、日本とウガンダとの共通点やつながりについて気付かせる。グループに分かれて、日本とウガンダの国旗の紙を用意し、プロジェクタで写されたが、どちらの国の写真か考えて、国旗の紙を掲げる。                       | ウガンダの写真<br>日本とウガンダの国旗のプリント                   |
| 3 | ウガンダの農業について学ぶ                                                                                                                                 | ウガンダの農業に関わる写真を                                                                                                                                      | ウガンダ料理                                       |

|    |                                                                      |                                                                                               |                       |
|----|----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 本時 | ねらい:ウガンダの農業の課題を見つけ、その課題に対して、どのようなことができるかを考えることができるようになる。             | 提示し、その写真から考えられる課題をたくさん見つけ出す。そして、その課題をランキング化して、自分たちができること・課題に対して取り組んでみたいことを考え発表する。             | ウガンダの農業・農村の写真6枚<br>付箋 |
| 4  | ウガンダの声を聴く<br>ねらい:ウガンダで農業を指導されている協力隊員の話聴き、現地での課題や、良い点などを一緒に考えることができる。 | 3回目の授業で考えた、ウガンダの農業の課題とその課題を解決するための方法を、現地で活動している協力隊員と意見交換する。また、実際に活動している隊員の方の活動内容や課題についても話を聞く。 |                       |

## 6. 本時の展開

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                  |                                                            |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 時間         | 45分                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                  |                                                            |
| 本時のねらい     | ・世界の農業について学ぶ。<br>・農業を通して課題を解決する力を身につける。                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                  |                                                            |
| 過程<br>(時間) | 教員の働きかけ・発問および学習活動・指導形態                                                                                                                                                                                                                                                      | 指導上の留意点(支援)                                                                      | 資料(教材)                                                     |
| 導入<br>(10) | (振り返り)<br>ウガンダと日本で共通する点は何があったか確認する。<br><br>2 回のウガンダ授業を通して、ウガンダに対する見方はどのように変わったかを発表する。                                                                                                                                                                                       | 前回の授業で使用した写真などをスライドで写し、確認する。                                                     | スライド                                                       |
| 展開<br>(30) | ウガンダの農業について学んでいく。<br>ウガンダの人々はどのようなものを食べているのか体験する。<br><br>ウガンダの農業・農村に関する6枚の写真を班(4人程度)ごとに配布する。その写真から考えられる、課題を見つけた。できるだけたくさん。<br><br>出た課題の中で、実際に「ウガンダ農業支援プロジェクト」を進めると仮定して、その中でまず一番初めに取り組むべきものを考えランキング化する。<br><br>その課題の原因について考える。<br>そして、課題の解決や・少しでも良くなる方法を考える。【ウガンダ農業支援プロジェクト】 | ここで、班ごとに意見がたくさん出しやすいように付箋を配り、その写真に張っていく。<br><br><br>実現可能かどうかは問わない。まずはいろんな方法を考える。 | ウガンダ料理<br><br><br>付箋<br><br><br>ワークシート<br>【ウガンダ農業支援プロジェクト】 |
| まとめ<br>(5) | ふりかえり<br>「農業を学ぶみなさんは、このような課題を解決することができる可能性を秘めているという」メッセージを伝える。                                                                                                                                                                                                              | 課題に対して考えることが大切だということを伝える。                                                        |                                                            |

## 7. 評価規準に基づく本時の評価方法

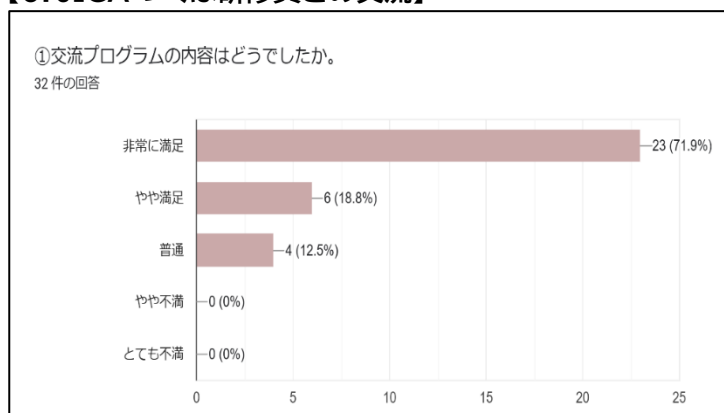
ウガンダの農業・農村の現状について理解し、私たちにできることは何かを考え、付箋に意見を書きだすことができる。また、自分の意見を他者に伝えることができる。

## 8. 学校外との連携

- ・JICA つくばの研修員の方々に来校していただき、生徒との交流を行った。
- ・JICA オンライン出前講座を利用し、ウガンダで活動をしている JICA 海外協力隊員に講話をしていただき、授業を行った。

## 9. 生徒の学びの軌跡

### 【0. JICA つくば研修員との交流】

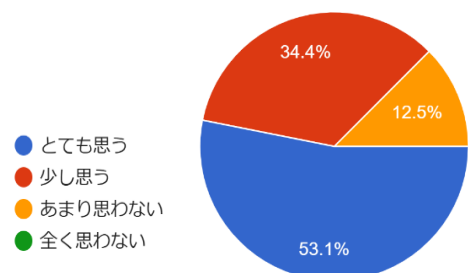


#### (満足の理由)

- ・喋れないけど一生懸命伝えようとしたから
- ・普通はなかなか関わりのない海外の人達に、自分たちが専門としている農業に関して英語を使って説明できたから。
- ・英語をうまく話せなかったという意見はあったが、全体として貴重な経験ができて満足という感想が多かった。

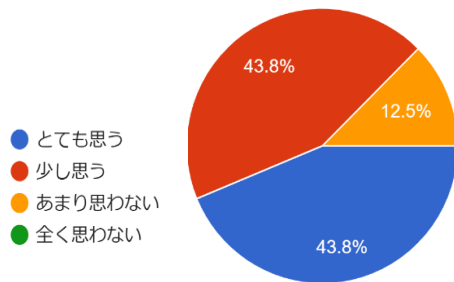
#### ①交流した研修員の方と将来もつながりを持ちたい。

32 件の回答

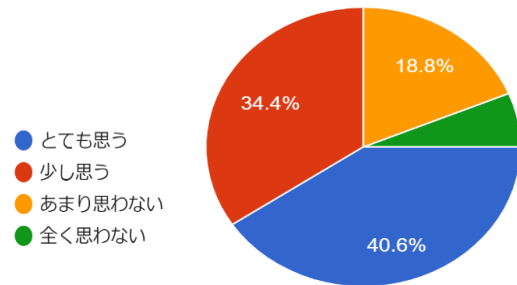


1回限りのプログラムであったため、会話が少しくなるようになり始めたくらいでお別れとなっていました。同じ班のメンバーでもう一度交流する機会があると、お互いの国の農業や身近な話ができ、より交流を図れると思う。

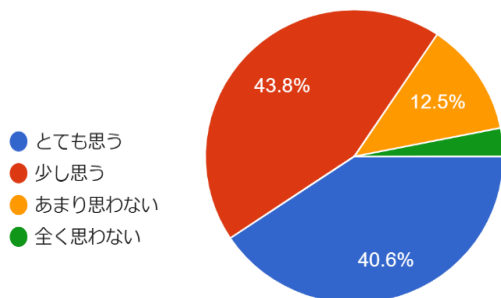
②外国の人と交流することで自分の可能性を広げたい。  
32 件の回答



③日本人として世界に貢献したい。  
32 件の回答



④社会や人のためになる仕事をしたい。  
32 件の回答



研修員の方々との国際交流を通じて、社会の役に立ちたいという思いや、世界・社会に貢献したいという前向きな意見が多く出てきた。農業を通じた交流によって、自分たちの学んでいることを社会に活かせるのではないかと感じる事ができたのではないかと思います。

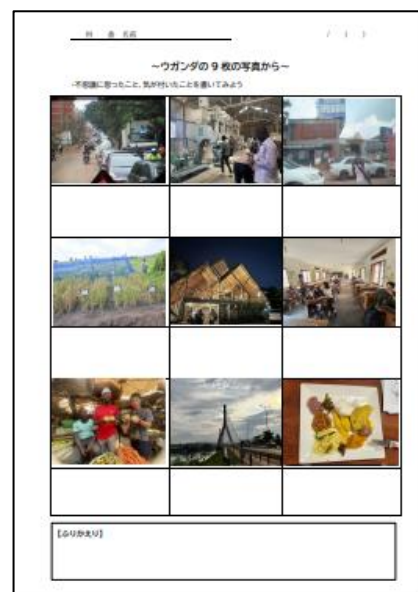
(1. ウガンダに行ってきました。)

ウガンダの風景や街の様子などの写真から、

- ・信号機がないことで渋滞が多く発生していること、日本車が多い
- ・日本と同じようにお米を作っているが、田んぼに水がないこと
- ・日本にもあるような立派な橋がある

などの反応があり、振り返りでは、実際にウガンダにいてみたい、意外と設備などがちゃんとしていることが分かった

というような感想があった。





(2. これって、ウガンダと日本どっち?)

スライドに写真を写して、その写真がウガンダか日本のどちらで撮ったものなのかを当ててクイズ形式で学んでいく授業を行った。



授業後のレポートで、

- ①授業を通して日本とウガンダの似ている・共通点・つながりはどのようなものがあるかわかったか。
  - ・道路が作られており橋もあった。また、日本で行われているお米の育て方がされていた。
  - ・日本から車を輸入して使っていて結構関わりがあることがわかった。
- ②授業を通してウガンダの印象は変わったか、また、不思議に思ったことは何か書きなさい。
  - ・最初はウガンダの印象はあまり良くなかったけどこの授業を通して思っている以上に綺麗で市場もすごい量の野菜やフルーツがあった。
  - ・ウガンダの授業を通してウガンダの農業の発展とインフラの発展を知ることが出来た。
  - ・ウガンダに興味を持ったので大人になったら行ってみたい。

(本時、ウガンダの農業について学んでみよう)



①課題  
収穫量が少ないからか、コメの値段が高い

①課題  
地面に置いている・衛生的によくない・木箱に  
トマトを入れて輸送していて大変そう

②原因  
野菜・果物を並べる棚がない・衛生面を気にし  
ていない・置く場所がない

③解決のためにできること  
棚を作りに行く、寄付する

①課題  
お米を天日干ししている、雨が降ったら大変・  
設備が整っていない



- ①課題  
田んぼにイネ以外の作物があるので、品質が下がる・田んぼに水を張っていない・雑草が多い  
計画的に栽培できていない
- ②原因  
機械化がされておらず手作業、農業の知識・資金が不足している・人手が足りていない
- ③解決のためにできること  
自分たちが学校で学んだことを教えに行く・学校の農業の先生を数人送り込む・オンラインで技術の提供

## 10. 自己評価

- ① 成果が出た点  
・生徒がウガンダについて考え「問い」を持つことができたこと。  
・0回目の授業で JICA つくばの研修員の方々と交流する機会があったので、ウガンダの話をする際も、前向き・肯定的に捉えることができていた。  
・3回目の授業でウガンダ農業を支援するという事で、農業機械がない・お金がない・米作りの環境が整っていないなどの課題が出てきて、その解決策で実際に自分たちがウガンダに行って農業を教えに行くという意見が出てきたのが嬉しかった。学んでいることを活かして、将来世界で活躍する生徒もいるかもしれない。
- ② 苦勞した点  
ウガンダの農業の課題を写真から読み取ることが難しいと感じた。その中から生徒たちはよく課題を考えてくれたと思う。ただこちらから課題を提示したくはなかったので、この方法で授業をした。6 枚の写真の中には課題が思い浮かびにくい写真もあったので、写真から伝えたかったことを最後に説明するべきであった。
- ③ 改善点  
・グループワークをする際に生徒4人を横並びに座らせてしまったので、端と端の生徒は意見交換できていなかった。4人囲むように座らせるか、2 人ペアにすることで話し合いを進めることができた。

## 11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組

英語科や社会科の教員と協力し、教科横断的な学習活動を行った。

## 12. 自由記述

ウガンダではどのようなものを食べているのか知ってもらうために、トウモロコシの粉をお湯で練って作る、ポシヨを食べてもらった。ただ、粉とお湯を混ぜて作るだけだから簡単だろうと思ったが、ちゃんと混ぜないと粉っぽくなってしまったりと意外と難しくて前日の夜に苦戦しました。

キャッサバもウガンダで食べられているが、普通のスーパーでは売っていないので、埼玉のアフリカ料理屋さんまで行き、キャッサバの料理があったのでお店のキャッサバを少し売ってもらった。

13. 参考資料

| 資料名                                                               | 著者名等                         | 出版元、URL 等                    |
|-------------------------------------------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| JICA 中部 教師海外研修ガイドブック                                              | 編集：NPO 法人<br>NIED・国際理解教育センター | 発行者：独立行政法人<br>国際協力機構 中部センター  |
| よりよい未来をともに学び・ともに創るファシリテーターのための参加型アクティビティ集 コミュニケーション編ー他者に関わる力を育もうー |                              | 発行：NPO 法人<br>NIED・国際理解教育センター |

14. 本時で使用した資料

\_\_\_\_\_ 班 ( \_\_\_\_\_ )

RE.12.20(火)



ウガンダ農業支援プロジェクト



①課題だと思うこと・困りごと

②その原因について考えてみよう。

③課題に対して、自分たちができることはないか考えてみよう。